

資料5の付属参考資料

被害想定項目一覧(前回調査)と国における今後の被害想定の方角性

被害想定項目			前回被害想定			国における今後の被害想定の方角性
			東海	東南海・南海	県	
建物被害	揺れによる被害	全壊棟数、半壊棟数	○	○	○	東日本大震災の揺れによる建物被害は全体としては比較的小さかったが、過去と今回の地震の周期の違いも指摘されている。今後さらにデータ等を収集し、震度と建物被害の関係について検討
	液状化による被害	全壊棟数、半壊棟数	○	○	○	継続時間の長い地震動による液状化の発生可能性について分析し、被害想定手法を検討
	急傾斜地崩壊による被害	全壊棟数、半壊棟数	○	○	△	(被害状況を踏まえ、必要に応じて手法を検討)
	宅地造成地				△	(被害状況を踏まえ、必要に応じて手法を検討)
	津波による被害	全壊棟数、半壊棟数	○	○	○	浸水深や流速との関係、建物構造(木造/非木造)による被害の違いや漂流物の影響等の分析を行い、津波による建物被害率を検討
地震火災	出火	炎上出火件数	○	○	○	建物全壊以外の出火等の事例を調査
	延焼	焼失棟数、焼失面積	○	○	○(焼失棟数)	(被害状況を踏まえ、必要に応じて手法を検討)
津波火災	出火・延焼		△			港湾、船舶、流出家屋、車両等からの出火原因の分析を踏まえ、津波火災の出火シナリオを検討
転倒・落下物等	ブロック塀・自販機等の倒壊		△	△	△	(被害状況を踏まえ、必要に応じて手法を検討)
	屋外落下物の発生		△	△	△	(被害状況を踏まえ、必要に応じて手法を検討)
震災廃棄物	瓦礫の発生	瓦礫発生量	○	○	△	建物以外の船舶、堆積汚泥・土砂等の発生を含めた被害想定や広域処理の影響を検討
人的被害	建物倒壊	死者数、負傷者数、重傷者数、重篤者数	○	○	○(死者数、負傷者数)	死者数は、建物全壊棟数の関数としているが、今後さらにデータ等を収集し、震度と建物被害の関係と被害想定手法を検討
	屋内収容物移動・転倒、屋内落下物	死者数、負傷者数、重傷者数	△	△	△	今後の被害状況の調査を踏まえ、家具転倒と人的被害の関係、被害想定手法を検討
	急傾斜地崩壊	死者数、負傷者数	○	○	△	(被害状況を踏まえ、必要に応じて手法を検討)
	地すべり・大規模崩壊による被害		△	△	△	(被害状況を踏まえ、必要に応じて手法を検討)
	火災被害		○	○	○	(被害状況を踏まえ、必要に応じて手法を検討)
	ブロック塀等の転倒、屋外落下物	死傷者数	△	△	△	(被害状況を踏まえ、必要に応じて手法を検討)
	交通被害(道路)	・揺れによるハンドル操作ミスによる交通事故に伴う死傷者数 ・落橋、桁折、大変形に伴う自動車事故に伴う死傷者数				(被害状況を踏まえ、必要に応じて手法を検討)
	交通被害(鉄道)	列車脱線による死傷者数				(被害状況を踏まえ、必要に応じて手法を検討)
	津波被害	死者数、負傷者数、重傷者数、要救助者数	○	○	○(死者数のみ)	避難行動パターン及び浸水深と死者の関係を整理し、被害想定へ反映させる方法について検討
	災害時要援護者の被災 自力脱出困難者(要救助者)	死者数 自力脱出困難者数	○	○		(被害状況を踏まえ、必要に応じて手法を検討)

※ ○:定量評価 △:定性評価

被害想定項目			前回被害想定			国における今後の被害想定の方角性
			東海	東南海・南海	県	
ライフライン被害	上水道	上水道拠点施設、設備の被災			○(管の被害箇所数等)	施設被害の想定、及びそれに伴う支障、復旧への影響について検討
		断水人口	○	○		施設被害の想定、及びそれに伴う支障、復旧への影響について検討
		復旧日数			△	施設被害の想定、及びそれに伴う支障、復旧への影響について検討
	下水道	下水道拠点施設、設備の被災			○(管の被害箇所数等)	施設被害の想定、及びそれに伴う支障、復旧への影響について検討
		機能支障人口	○	○		施設被害の想定、及びそれに伴う支障、復旧への影響について検討
		復旧日数				施設被害の想定、及びそれに伴う支障、復旧への影響について検討
	電力	発電所、重要変電所の主要設備の被害			△	施設被害の想定、及びそれに伴う支障、復旧への影響について検討
		一般変電所、配電用変電所の被害			△	施設被害の想定、及びそれに伴う支障、復旧への影響について検討
		配電設備被害(架空・地中)			○(配電柱の被害本数等)	施設被害の想定、及びそれに伴う支障、復旧への影響について検討
		停電世帯数、停電人口	○	○		施設被害の想定、及びそれに伴う支障、復旧への影響について検討
		復旧日数、復旧曲線、復旧作業に投入する人員数(ピーク数)			△	施設被害の想定、及びそれに伴う支障、復旧への影響について検討
	電話・通信	通信拠点施設の被害			○(電話柱の被害本数等)	施設被害の想定、及びそれに伴う支障、復旧への影響について検討
		使用不能人口(又は不通回線数)、使用不能率	○	○		施設被害の想定、及びそれに伴う支障、復旧への影響について検討
		復旧日数、復旧曲線、復旧作業に投入する人員数(ピーク数)			△	施設被害の想定、及びそれに伴う支障、復旧への影響について検討
	都市ガス	ガス拠点施設・設備の被災			○(管の被害箇所数等)	施設被害の想定、及びそれに伴う支障、復旧への影響について検討
供給停止戸数		○	○		施設被害の想定、及びそれに伴う支障、復旧への影響について検討	
生活支障等	避難生活	避難者数、避難所生活者数、疎開者数	○	○	○(罹災者数、避難者数)	県境を越える広域避難が必要となるケースを始めとした避難シナリオを検討 広域避難の実態を踏まえ、被害想定による避難者数の想定結果や現況の避難者受入能力などを考慮し、広域避難の様相を検討
	帰宅困難者	帰宅困難の可能性のある人数等				海溝型地震による広範囲での揺れの発生に伴う公共交通機関の停止と帰宅困難者の発生について検討
生活支障等	物資不足	食料不足量	○	○	△	製油所等の被災による燃料不足の影響及びそれによる車両等による配送の遅延、物資の不足等に関する影響を踏まえた被災シナリオを検討(特に物資の調達に関して発生した様々な事象・対応状況を整理)
		給水不足量	○	○	△	
		生活必需品不足量	○	○	△	
		燃料(ガソリン・灯油)不足量				
		被災地外への影響(商品不足等)				
	医療機能支障	要転院患者数	○	○	△	津波等による病院被害を踏まえた病院機能の低下、患者の長距離搬送等に関する被災シナリオを検討 人的被害の被害総定数の見直しを踏まえ、空きベッドの不足や長距離搬送の必要な患者数等を検討
		医療需給過不足数(対応困難重傷者数、医療救護班派遣需要)	○	○	△	
仮設トイレ需要	仮設トイレ不足量	○	○		(被害状況を踏まえ、必要に応じて手法を検討)	
保健衛生、防疫、遺体処理等		△	△		季節等を踏まえ、廃棄物等の腐敗、迅速な遺体処理等、保健衛生面での必要な被災シナリオを検討	

※ ○:定量評価 △:定性評価

被害想定項目			前回被害想定			国における今後の被害想定の方角性
			東海	東南海・南海	県	
交通施設被害	道路（高速道路、一般道路）	被害箇所数 【揺れ、軟弱地盤】路面損傷、沈下、法面崩壊、橋梁損傷等	△	△	○（橋梁、切土、盛土）	揺れ及び津波による被害率の見直し 津波等によるアクセス不能路線・区間など交通・輸送機能支障シナリオを検討
		被害箇所数 【津波】路面損傷、橋梁損傷、落石、洗掘等	△	△	△	
	鉄道	被害箇所数 【揺れ、軟弱地盤】線路変状、路盤陥没、電気設備損傷等	△	△	○（橋梁、切土、盛土、トンネル）	
		被害箇所数 【津波】線路損傷、橋梁損傷、落石、洗掘等	△	△	△	
	港湾	被害バース数	△	△	○（被災延長）	
	空港・ヘリポート		△	△		
	細街路における閉塞の発生					
その他の被害	長周期地震動による影響	中高層建築物（エレベータ閉じ込め、停電、断水、恐怖感等の心理的影響、避難時の混乱等）	△	△	△	長周期地震動で大きな影響を受ける超高層ビル等の被災シナリオについて検討
	道路上の自動車への落石・崩土		△			（被害状況を踏まえ、必要に応じて手法を検討）
	危険物・高圧ガス施設被害		△	△	△	（被害状況を踏まえ、必要に応じて手法を検討）
	大規模集客施設等の被災		△			（被害状況を踏まえ、必要に応じて手法を検討）
	地下街・ターミナル駅の被災	地下街における群集殺到事故発生時の死傷者数 ターミナル駅の滞留者を対象に、揺れによる駅舎被害に伴い発生する死傷者数				（被害状況を踏まえ、必要に応じて手法を検討）
	文化財の被害		△	△		（被害状況を踏まえ、必要に応じて手法を検討）
	孤立集落の発生	孤立集落数、孤立世帯数		△	△	被害様相を整理し、被害想定に反映させる手法を検討
	応急活動支障			△	△	被災者だけでなく、応急活動に従事する職員等の物資確保を図るシナリオについて検討
	堰堤の決壊					堰堤が被害を受けることによる浸水被害の可能性について、被災シナリオを検討
	市町村庁舎の被害	市町村庁舎の被災による行政機能の喪失状況、災害応急対策・復旧・復興への影響				市町村庁舎の被災シナリオ、影響を検討（大規模かつ広域災害に備えた広域支援体制に向け、対応状況を整理）
経済被害（直接被害）	施設・資産の損傷額	住宅・オフィス・家財・償却資産・在庫資産	○	○		（被害状況を踏まえ、必要に応じて手法を検討）
		ライフライン施設（電力、通信、都市ガス、上水道）	○	○	△	（被害状況を踏まえ、必要に応じて手法を検討）
		交通基盤施設（道路、鉄道、港湾）			△	（被害状況を踏まえ、必要に応じて手法を検討）
		農地の被害（液状化、津波）				（被害状況を踏まえ、必要に応じて手法を検討）
		漁港の被害（津波）				（被害状況を踏まえ、必要に応じて手法を検討）
		その他（文教施設、保健医療・福祉関連施設、廃棄物処理施設、その他公共施設等）				（被害状況を踏まえ、必要に応じて手法を検討）
経済被害（間接被害）	生産停止による被害	直接被害による生産額減少（被災地）	○	○	△	（被害状況を踏まえ、必要に応じて手法を検討）
		農地、養殖筏、漁港の生産機能停止による生産額減少				（被害状況を踏まえ、必要に応じて手法を検討）
	交通寸断による被害	人流寸断、港湾物流寸断による影響額	○	○	△	（被害状況を踏まえ、必要に応じて手法を検討）
	経済被害の波及	地域外等への波及影響	○	○		（被害状況を踏まえ、必要に応じて手法を検討）

※ ○：定量評価 △：定性評価